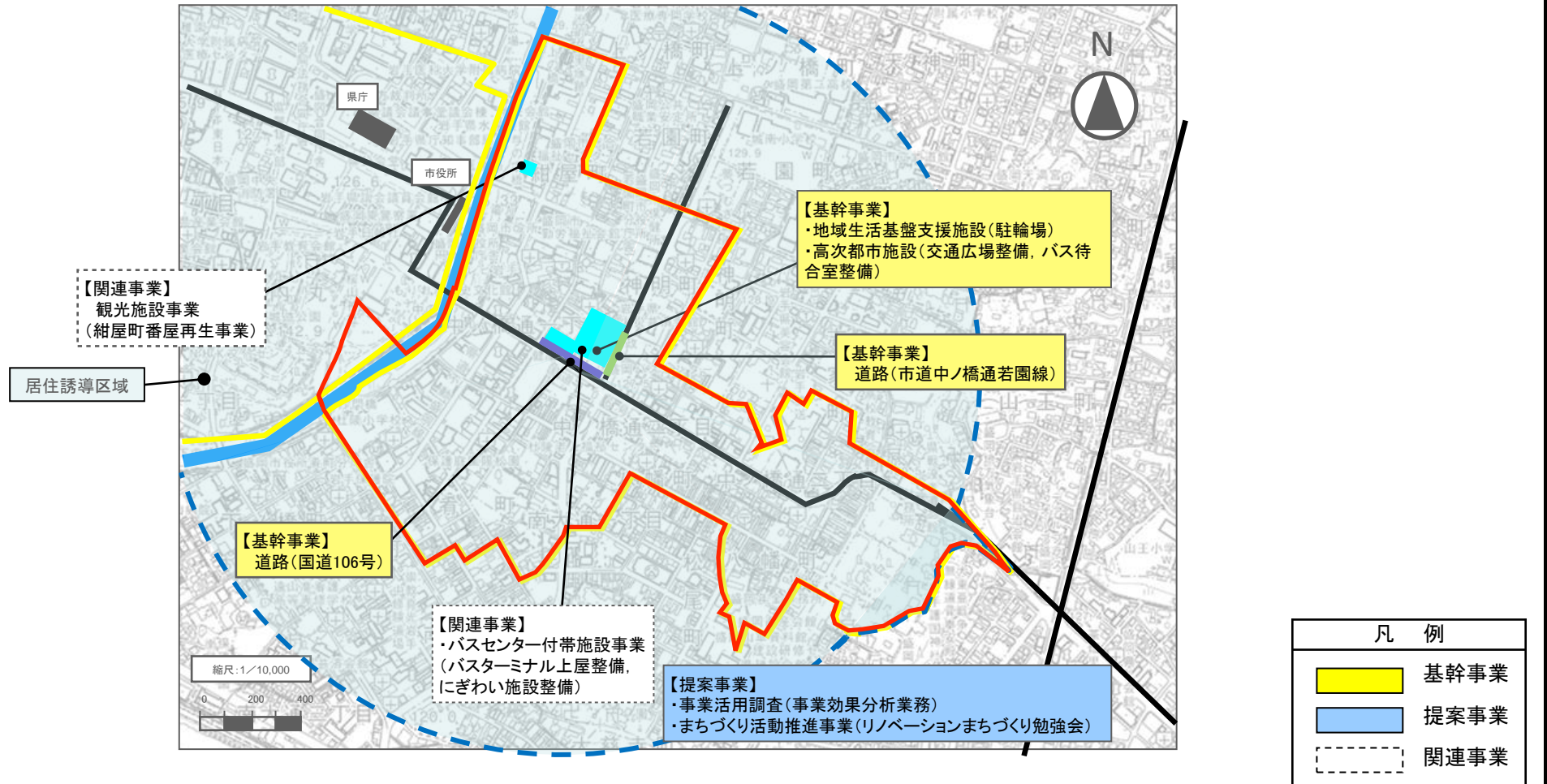


# 盛岡バスセンター周辺地区(岩手県盛岡市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	【大目標】訪れやすい環境の創出と地域の魅力に触れることができるエリアの形成	代表的な指標	歩行者・自転車通行量数 (人/年)	8,515人 (H30年度) → 8,515人 (R6年度)
	◇新バスセンター整備事業を推進し、地区の集客力・回遊性向上を図る。		周辺観光施設来場者数 (人/年)	90,065人 (H30年度) → 110,000人 (R6年度)
	◇周辺商店街との連携、地域資源活用により地区の活性化を図る。		周辺宿泊施設宿泊者数 (人/年)	41652人 (H30年度) → 60,000人 (R6年度)






凡 例	
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:yellow; border:1px solid black;"></span>	基幹事業
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; background-color:lightblue; border:1px solid black;"></span>	提案事業
<span style="display:inline-block; width:20px; height:10px; border:1px dashed black;"></span>	関連事業

〇〇〇地区(〇〇県〇〇市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)




目標		代表的な 指標	( )	( 年度) →	( 年度)
			( )	( 年度) →	( 年度)
			( )	( 年度) →	( 年度)



凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

〇〇〇地区(〇〇県〇〇市) 整備方針概要図(まちなかウォークブル推進事業)

目標		代表的な 指標	( )	( 年度) →	( 年度)
			( )	( 年度) →	( 年度)
			( )	( 年度) →	( 年度)

凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

# 【記入例】

ダブルクリックをするとエクセルが立ち上がります。エクセルのセル内に直接入力して下さい。

## 〇〇〇地区(〇〇県〇〇市) 整備方針概要図


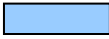
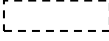
目標	代表的な	( )	( 年度) →	( 年度)
	指標	( )	( 年度) →	( 年度)
		( )	( 年度) →	( 年度)

この領域については、ダブルクリックせずに(エクセルを立ち上げずに) パワーポイント上で作図して下さい。

### 【図面作成上の留意点】

- ・下図は白図を使用し、縮尺は1/10,000~1/25,000を基本とし、適宜調整すること。スケールバー・方位を記入すること。
- ・都市再生整備計画の区域を赤太線縁取りし、地区名、区域面積を記入すること。
- ・まちなかウォークアブル推進事業の場合、まちなかウォークアブル区域を緑色太線縁取り、地区名、地区面積を記入すること。
- ・都市機能誘導区域を橙色点線縁取り、居住誘導区域を青色点線縁取りすること。
- ・計画に位置付けられた事業について、その位置がわかるように旗揚げし、事業名等を明記すること。関連事業についても旗揚げし、関連事業であることがわかるように記載すること。各事業は以下のように標記すること。
- 基幹事業、 □ 提案事業、 ○ 関連事業
- ・高速道、幹線道、鉄道等の都市の骨格を成す施設及び計画の内容に影響を与える主要な施設を明記すること。
- ・その他必要な事項を記載するときは、必ず凡例を記入すること。

- ・下絵に使用する地図は、市街化区域等及び用途地域が分かるものを極力使用してください。
- ※その地図を使用することが困難な場合は、要素事業が市街化区域等及び用途区域の中か外を、判別出来る資料を別途提出してください。

凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

# 【記入要領】

- ・「地区名」欄の( )内の市町村名は、必要に応じてふりがなを振ること(特に“町”は、“まち”なのか“ちょう”なのかが明確に分かるようにすること。
- ・「目標」欄は、この計画の目標を簡潔に記入すること。
- ・「代表的な指標」欄については、代表的な指標を3つまで記入すること。記入に当たっては、下記記入例に倣うこと。

記入例) 指標が“観光客数”で、従前値が20万人(基準年度がR1年度)、目標値が30万人(目標年度がR5年度)の場合

観光客(人／年) : 200,000(R1年度) → 300,000(R5年度)
--

- ・図面の作成に当たっては、【図面作成上の留意事項】に留意するとともに、提出の際には【図面作成上の留意事項】を記したページは消去すること。

# 【図面作成上の留意点】

- ・下図は白図を使用し、縮尺は1/10,000～1/25,000を基本とし、適宜調整すること。スケールバー・方位を記入すること。
- ・都市再生整備計画の区域を赤太線縁取りし、地区名、区域面積を記入すること。
- ・まちなかウォークアブル推進事業の場合、まちなかウォークアブル区域を緑色太線縁取り、地区名、地区面積を記入すること。
- ・都市機能誘導区域を橙色点線縁取り、居住誘導区域を青色点線縁取りすること。
- ・計画に位置付けられた事業について、その位置がわかるように旗揚げし、事業名等を明記すること。関連事業についても旗揚げし、関連事業であることがわかるように記載すること。  
各事業は以下のように標記し、凡例に従い、枠内を着色すること。  
■基幹事業、 □提案事業、 ○関連事業
- ・高速道、幹線道、鉄道等の都市の骨格を成す施設及び計画の内容に影響を与える主要な施設を明記すること。
- ・下絵に使用する地図は、市街化区域等及び用途地域が分かるものを極力使用してください。  
※その地図を使用することが困難な場合は、要素事業が市街化区域等及び用途区域の中か外を、判別出来る資料を別途提出してください。
- ・その他必要な事項を記載するときは、必ず凡例を記入すること。